

金山小歌会始で6年生が発表 思いのこもった歌がずらり

1月11日、4回目となる「金山小歌会始」が行われ、金山小の6年生が工夫を凝らした歌を発表しました。今年も時事問題などを組み入れた豊かな表現の作品が勢ぞろい。優秀作品に選ばれた正野梓くん（七日町）の短歌は曾祖父との死別をテーマにしました。「自分の気持ちを素直に詠んだ歌で、みんなが感動してくれて嬉しい」と少し照れながら喜びを語っていました。



▲新庄瀧山短歌会の山田代表らが児童らの作品を選評した

白岩土木建築が冬季交通安全教室 めごたま年長児が雪道の注意点を学ぶ

町内の国道除雪を請け負う白岩土木建築㈱が毎年開催している冬季交通安全教室が12月25日、金山防災除雪ステーションで開かれました。雪の降る中、認定こども園めごたま年長児35名が参加し、ロータリー除雪車や除雪グレーダーなど5種類の車を見学。乗車のうえ操作を体験したり、死角を確認していました。園児たちは「除雪車の近くには行かない」と元気に声を揃えていました。



▲各種除雪車に乗り、操作を体験しながら注意点を学んだ

▼紅白のだんごや手作りの装飾をミズキの木に飾り付けた



有屋小でなしだんご作り 今年1年を幸せに過ごせますように

1月15日、有屋小学校の1・2年生が、地域の方々と一緒に「なしだんご作り」に挑戦しました。なしだんごは小正月の伝統行事で、1年の幸せを願うもの。昨年に引き続き作業を行った小沼美来さん（2年）は「たくさんのだんごや飾りを付けることができた。綺麗にできてよかった」と笑顔。完成したなしだんごは、有屋小学校の玄関ホールに2月中旬頃まで飾られる予定です。

▼スキー板を「八の字」にし恐る恐る滑走する沖縄の児童ら



町内小学生が沖縄の児童と交流 初めてのスキーに興奮

1月17日、沖縄県から児童66名が神室スキー場を訪れ、初体験のスキーを楽しみました。最上広域市町村圏事務組合が行う中部広域圏児童派遣交流事業の中で、恒例のレクレーションであるスキー体験。初めて雪を見たという児童もあり、雪上で思うように動かない体にあちこちから悲鳴があがっていました。半日で交流も広がり、スキーを通して金山の児童とも友情が深まっていました。

1_男子リレー 2_連覇の瞬間。アンカー松田悠真さんがゴール
2_男子リレーチーム 3_女子リレーチーム 4_コー
チ陣らとともに集合写真



大堰公園休憩所で「いただきます！」 フリースペースまちかどカフェたまりば

誰もが楽しく食事をとれる居場所を目指した「みんなでごはん」が12月26日、大堰公園休憩所で開かれました。冬休みを迎えた小学生や中高生らが、寄附された食材を使ったカレーライスを食べながら交流。企画したフリースペースまちかどカフェたまりばの川又理事長は「金山では初めての開催。もっと地域の方々を巻き込んで、多くの人が関われる場になればよい」と話していました。



▲大根炒りやかぼちゃの甘煮、デザートもすべて手作り

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

金山中スキー部が今季も躍進 県中スキー競技大会で男女総合5連覇

1月11日から開催された第58回山形県中学校総合体育スキー競技大会において、金山中学校スキー部が5年連続となる男女総合優勝を果たしました。クロカン個人競技では、クラシカル・フリーの両部門で10の入賞。リレー競技では、男子チームが2連覇を達成し、歓喜に沸きました。また、同日程で行われた県高校スキー大会でも金山中出身選手が優勝するなど、大活躍がみられました。

▼(右から) 大場征志さん、松田聖子さん、松田順一さん



「交通安全の誓い」に2750名の署名 町交通安全団体らが新庄警察署に提出

町内で昨年2件発生した交通死亡事故や約3年ぶりに摘発された飲酒運転に歯止めをかけようと、町交通安全団体などが12月18日、「交通安全の誓い」を新庄警察署に提出しました。この誓いは全世帯にお願いし集まった町民2750名分の署名。安孫子署長に手渡しした町交通安全母の会の松田聖子会長は「改めて交通安全、飲酒運転の撲滅に向け活動していく」と宣言していました。